

2026年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 アステリア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3853 URL <https://jp.asteria.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 洋一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 齊藤 裕久 TEL 03-5718-1655
 定時株主総会開催予定日 2026年6月27日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 機関投資家及び個人投資家向け

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		調整後EBITDA		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	3,389	6.9	893	△13.4	1,025	31.2	974	27.2	831	42.1	799	35.7
2025年3月期	3,171	9.0	1,031	22.1	781	—	766	—	585	—	589	—

	当期包括利益 合計額		基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属 持分当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	1,435	138.9	48.14	48.14	11.5	10.6	30.2
2025年3月期	600	—	35.02	35.02	10.1	9.9	24.6

(注) 1. 基本的及び希薄化後1株当たり当期利益については、親会社の所有者に帰属する当期利益の数値を基に算出しております。
 2. 調整後EBITDA＝営業利益＋減価償却費±その他の調整項目（のれん減損、未実現買収対価、投資事業にかかる未実現評価損益等）

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	10,595	7,950	7,796	73.6	458.95
2025年3月期	7,858	6,239	6,105	77.7	363.23

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	571	△720	541	3,260
2025年3月期	829	772	△517	2,814

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	—	—	8.00	8.00	134	22.8	2.3
2026年3月期	—	—	—	9.00	9.00	153	18.7	2.2
2027年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00	—	—	—

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	3,700	9.2	1,100	7.3

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	17,491,265株	2025年3月期	17,491,265株
② 期末自己株式数	2026年3月期	505,321株	2025年3月期	683,921株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	16,591,184株	2025年3月期	16,807,344株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、以下の通りインターネットでの決算説明会を開催する予定です。使用する資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、説明会の模様は、YouTube Liveによりライブ配信するほか、後日当社ウェブサイトでも公開する予定です。

2026年5月14日 (木) 18:00~

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結財政状態計算書	5
(2) 連結損益計算書	7
(3) 連結包括利益計算書	8
(4) 連結持分変動計算書	9
(5) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 連結財務諸表に関する注記事項	12
4. その他	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

区分	前連結会計年度	当連結会計年度	増減率
売上収益	3,171百万円	3,389百万円	6.9%
調整後EBITDA	1,031百万円	893百万円	△13.4%
営業利益	781百万円	1,025百万円	31.2%
税引前利益	766百万円	974百万円	27.2%
親会社の所有者に帰属する当期利益	589百万円	799百万円	35.7%

<売上収益及び利益の状況>

当連結会計年度（2025年4月～2026年3月）において、当社グループは、主力であるソフトウェア事業の着実な成長に加え、前連結会計年度より実施してきた事業構造改革の効果が顕在化、ならびに投資事業セグメントにおける評価益の計上により、業績の大幅な伸長を達成しました。

売上収益は、企業のデジタルトランスフォーメーション推進やクラウド環境の進展を背景にソフトウェア事業におけるサブスクリプション型サービスが収益拡大を牽引した結果、前年比で6.9%増の3,389百万円となりました。

利益は、ソフトウェア事業の利益貢献に加え、SpaceX社に関する評価益を計上したことにより、営業利益1,025百万円、税引前利益974百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益799百万円となりました。

《当社の報告セグメント》

当社は、「ソフトウェア事業セグメント」と「投資事業セグメント」の2つを報告セグメントとしています。

《ソフトウェア事業セグメント》

	前連結会計年度	当連結会計年度	前期比
売上収益	3,171百万円	3,389百万円	106.9%

主力のデータ連携ツール「ASTERIA Warp」は、レガシーシステムからクラウドへの刷新や企業のデータ活用の加速などによる連携需要が堅調で、売上収益は2,889百万円（前期比5.3%増）となりました。サブスクリプション売上は前期比34.2%増となり、サポート売上と合わせたストック売上構成比は約7割を超え安定成長を続けています。さらに、ChatGPT、Gemini、Claude等の主要な生成AIとの連携アダプターを追加し、AI活用ニーズへの対応も強化しています。

モバイルアプリ作成ツール「Platio」は、多様な業界・業種における現場業務のDXや、獣害対策などの新たな社会課題への対応も強化するなか、売上収益は前期比28.1%増となりました。また、自然言語によるアプリ作成を可能にする「AIアシスト機能」の実装や、エンタープライズ向け製品「Platio Canvas」の提供開始により、幅広いターゲットへの販促も図っています。

デジタルコンテンツプラットフォーム「Handbook X」は、地下やトンネル内など通信圏外エリアでの利便性が評価され、鉄道業界等からの引き合いが増加しています。AI/IoTプラットフォーム「Gravio」は、AIカメラやセキュリティシステム等を新たな連携先として拡大し、エッジソリューションとしての機能強化を図っています。

継続的シミュレーションプラットフォーム「Artefacts」は、世界各国で月面探査プロジェクトが展開されるなかで、宇宙開発現場における探査車やロボット等の稼働シミュレーションを海外の学術機関などから受注しました。今後においても、フィジカルAIを含めたロボティクス領域でのビジネス拡大も視野に入れた事業開発も推進しています。

《投資事業セグメント》

	前連結会計年度	当連結会計年度	前期比
評価額の増減および売却損益	46百万円	422百万円	919.1%

Asteria Vision Fund I, L.P. (AVF-1)を通じて、当社のソフトウェア事業と同じ「D4G」(Data, Device, Decentralized, Design for Green) 領域への投資を実施し、国際会計基準に基づいて投資先の評価損益を計上しており、主としてSpaceX社の評価益等を計上しました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、10,595百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,737百万円増加しました。この主な要因は、その他の金融資産1,070百万円、のれん802百万円、現金及び現金同等物446百万円、有形固定資産369百万円の増加によるものです。

(負債)

負債合計は2,645百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,027百万円増加しました。この主な要因は、借入金565百万円及びその他の金融負債（リース負債）374百万円の増加によるものです。

(資本)

資本合計は7,950百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,710百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金694百万円、その他の資本の構成要素558百万円、資本剰余金284百万円の増加によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より446百万円増加し、3,260百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は571百万円（前期829百万円の獲得）となりました。主に税引前当期利益974百万円、減価償却費及び償却費310百万円の増加のほか、その他の収益478百万円（主に投資にかかる未実現利益）及び法人所得税の支払額169百万円の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は720百万円（前期772百万円の獲得）となりました。主に投資の払い戻しによる収入397百万円の増加のほか、子会社株式取得による支出536百万円及び投資有価証券の取得による支出535百万円の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は541百万円（前期517百万円の使用）となりました。主に長期借入金700百万円及び自己株式の処分による収入500百万円の増加のほか、自己株式の取得による支出301百万円及び配当金の支払による134百万円の減少によるものです。

(4) 今後の見通し

売上収益については、主力製品「ASTERIA Warp」において、企業のクラウドシフトに伴うシステム刷新需要の継続を見込むほか、生成AIの社会実装を背景としたデータ連携ニーズのさらなる取り込みを図ります。主要な生成AIとの連携機能を拡充するとともに、伸長するサブスクリプション形態を軸としたストック型収益の拡大により、持続的な成長を継続してまいります。

また、高成長を続ける「Platio」については、AIによるアプリ作成支援機能の実装やエンタープライズ向け新製品「Platio Canvas」の展開を加速させ、より幅広い顧客層への導入および利用規模の拡大を目指します。

さらに、将来の大きな成長への布石として、ステーブルコイン、フィジカルAI、ロボティクス等の事業にも先行投資を実施します。

以上の活動の結果、次期の連結業績見通しにつきましては、売上収益は前期比9.2%増の3,700百万円、営業利益は前期比7.3%増の1,100百万円を見込んでおります。

※将来情報に関する注意

なお、上記の業績見通しは、現時点における情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、「組織を超えたコンピューティングを実現するソフトウェアを開発し世界規模で提供する」をビジョンに掲げ、ソフトウェア製品を提供しております。当社グループのビジョンに掲げております「世界規模」で活動を行う上で、グローバルでの会計処理の統一、国際的な比較可能性を向上させ、ステークホルダーの皆様の利便性を高めることを目的として、2016年3月期有価証券報告書より国際会計基準(IFRS)を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,814,062	3,260,223
営業債権及びその他の債権	243,759	245,496
棚卸資産	3,731	—
その他の流動資産	62,720	96,324
流動資産合計	3,124,272	3,602,043
非流動資産		
有形固定資産	840,860	1,209,975
無形資産	316,930	398,072
のれん	—	801,585
持分法で会計処理されている投資	132,320	143,963
繰延税金資産	217,783	131,659
その他の金融資産	3,033,852	4,103,355
その他の非流動資産	191,927	204,475
非流動資産合計	4,733,673	6,993,084
資産合計	7,857,945	10,595,127

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	100,000	140,000
営業債務及びその他の債務	99,868	286,134
未払法人所得税等	155,417	17,948
その他の金融負債	58,166	76,148
その他の流動負債	893,579	926,587
流動負債合計	1,307,030	1,446,816
非流動負債		
引当金	9,419	15,288
借入金	—	525,000
その他の金融負債	302,014	658,255
非流動負債合計	311,433	1,198,544
負債合計	1,618,463	2,645,360
資本		
資本金	2,275,343	2,275,343
資本剰余金	2,522,045	2,806,493
自己株式	△505,334	△351,856
その他の資本の構成要素	692,920	1,251,170
利益剰余金	1,120,010	1,814,474
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,104,985	7,795,625
非支配持分	134,497	154,142
資本合計	6,239,482	7,949,767
負債及び資本合計	7,857,945	10,595,127

(2) 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上収益	3,171,258	3,388,800
売上原価	338,757	400,603
売上総利益	2,832,502	2,988,197
販売費及び一般管理費	2,105,743	2,432,541
その他の収益	61,268	477,682
その他の費用	6,826	8,575
営業利益	781,201	1,024,764
金融収益	17,166	13,140
金融費用	34,574	76,189
持分法による投資利益	1,850	12,255
税引前利益	765,643	973,970
法人所得税費用	180,804	142,938
当期利益	584,838	831,032
当期利益の帰属		
親会社の所有者	588,623	798,652
非支配持分	△3,784	32,380
当期利益	584,838	831,032
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	35.02	48.14
希薄化後1株当たり当期利益(円)	35.02	48.14

(3) 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期利益	584,838	831,032
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	54,053	300,960
純損益に振り替えられることのない項目合計	54,053	300,960
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△38,447	302,708
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△38,447	302,708
その他の包括利益合計	15,606	603,668
当期包括利益	600,445	1,434,700
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	598,555	1,387,173
非支配持分	1,890	47,527
当期包括利益	600,445	1,434,700

(4) 連結持分変動計算書

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2024年4月1日時点の残高	2,275,343	2,522,045	△505,334	711,171	35,476	746,648
当期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△44,121	54,053	9,932
当期包括利益合計	—	—	—	△44,121	54,053	9,932
配当金	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	△63,660	△63,660
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	—	—	△63,660	△63,660
2025年3月31日時点の残高	2,275,343	2,522,045	△505,334	667,050	25,870	692,920
当期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	287,562	300,960	588,522
当期包括利益合計	—	—	—	287,562	300,960	588,522
配当金	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	△1,350	△299,960	—	—	—
自己株式の処分	—	285,797	453,437	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	△30,272	△30,272
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	284,448	153,477	—	△30,272	△30,272
2026年3月31日時点の残高	2,275,343	2,806,493	△351,856	954,612	296,558	1,251,170

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
	千円	千円		
2024年4月1日時点の残高	543,361	5,582,064	174,907	5,756,971
当期利益	588,623	588,623	△3,784	584,838
その他の包括利益	—	9,932	5,674	15,606
当期包括利益合計	588,623	598,555	1,890	600,445
配当金	△75,633	△75,633	—	△75,633
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	63,660	—	—	—
その他	—	—	△42,300	△42,300
所有者との取引額合計	△11,974	△75,633	△42,300	△117,933
2025年3月31日時点の残高	1,120,010	6,104,985	134,497	6,239,482
当期利益	798,652	798,652	32,380	831,032
その他の包括利益	—	588,522	15,146	603,668
当期包括利益合計	798,652	1,387,173	47,527	1,434,700
配当金	△134,459	△134,459	—	△134,459
自己株式の取得	—	△301,310	—	△301,310
自己株式の処分	—	739,235	—	739,235
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	30,272	—	—	—
その他	—	—	△27,882	△27,882
所有者との取引額合計	△104,187	303,466	△27,882	275,584
2026年3月31日時点の残高	1,814,474	7,795,625	154,142	7,949,767

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	765,643	973,970
減価償却費及び償却費	237,372	309,701
金融収益	△17,166	△13,140
金融費用	34,574	76,189
持分法による投資損益(△は益)	△1,850	△12,255
その他の収益	△61,268	△477,682
その他の費用	6,826	8,575
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△67,041	△3,037
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△13,144	186,028
その他	△158,862	△311,428
小計	725,084	736,920
利息及び配当金の受取額	71,715	13,753
利息の支払額	△4,540	△10,436
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	37,075	△169,219
営業活動によるキャッシュ・フロー	829,334	571,018
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	62	85
有形固定資産の取得による支出	△12,416	△25,102
投資の売却及び償還による収入	324,570	396,658
投資有価証券の取得による支出	—	△535,353
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△535,997
貸付金の回収による収入	470,760	—
その他	△11,376	△20,096
投資活動によるキャッシュ・フロー	771,600	△719,806
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	700,000
長期借入金の返済による支出	△357,400	△35,000
短期借入金の返済による支出	—	△100,000
自己株式の処分による収入	—	499,928
自己株式の取得による支出	—	△301,310
配当金の支払額	△75,441	△134,186
非支配持分からの払込による収入	6,124	6,138
非支配持分への分配金の支払による支出	△42,300	△27,414
リース負債の返済による支出	△48,278	△66,880
財務活動によるキャッシュ・フロー	△517,294	541,276
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,083,640	392,487
現金及び現金同等物の期首残高	1,731,347	2,814,062
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△925	53,674
現金及び現金同等物の期末残高	2,814,062	3,260,223

(6) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当企業グループの報告セグメントは、当企業集団の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「ソフトウェア事業」及び「投資事業」の2つを報告セグメントとし、2つの事業を基礎として組織が構成されています。

「ソフトウェア事業」には、当社が創業来拡大している企業向けの事業で構成されます。

「投資事業」は、米国に拠点を置く100%子会社Asteria Vision Fund Inc. が管理する投資で構成されております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及び資産の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円		
売上収益					
外部収益	3,171,258	-	3,171,258	-	3,171,258
セグメント間収益	-	-	-	-	-
合計	3,171,258	-	3,171,258	-	3,171,258
セグメント利益 (△損失) (注2)	793,511	△20,882	772,629	-	772,629
その他の収益及び費用 (注2)					8,572
金融収益					17,166
金融費用					34,574
持分法による投資損益 (△は損失)					1,850
税引前利益					765,643

その他の項目

減価償却費及び償却費 237,208 163 237,372 - 237,372

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引消去額を表示しております。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円		
売上収益					
外部収益	3,388,800	-	3,388,800	-	3,388,800
セグメント間収益	-	-	-	-	-
合計	3,388,800	-	3,388,800	-	3,388,800
セグメント利益 (△損失) (注2)	583,285	393,984	977,269	-	977,269
その他の収益及び費用 (注2)					47,495
金融収益					13,140
金融費用					76,189
持分法による投資損益 (△は損失)					12,255
税引前利益					973,970
その他の項目					
減価償却費及び償却費	309,701	-	309,701	-	309,701

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引取消去額を表示しております。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。

(1株当たり利益)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する当期利益 (千円)	588,623	798,652
当期利益調整額 (千円)	-	-
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (千円)	588,623	798,652
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (千円)	588,623	798,652
期中平均普通株式数 (株)	16,807,344	16,591,184
普通株式増加数 (株)	-	-
新株予約権 (株)	-	-
希薄化後の期中平均普通株式数 (株)	16,807,344	16,591,184
基本的1株当たり当期利益 (円)	35.02	48.14
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	35.02	48.14

(重要な後発事象)
該当事項はありません。

4. その他

該当事項はありません。